

喜界町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



春・出会いと別れが交錯する喜界空港 ～これまでありがとう・これからよろしく～



表紙説明

異動シーズンを迎える3月末から4月始め、空港や港で「別れ」と「出会い」が繰り返される。「別れ」は悲しいものだが、次の新しい「出会い」の喜びが待っている。

表紙は、定期異動で島を去る方々を町民が見送るシーンで、異動時期にはこんな場面を度々目にする。こんなに間近で見送ることができる飛行場はあまりないのではないだろうか。そんなシーンが、飛行機が飛び立つまで手を振る人達のさらなる涙を誘う。

喜界町キャラクター
よるこびと

CONTENTS

施政方針演説 P 2	区長が語る！わーちゃん集落 P14	町からのお知らせ P20
人事異動表 P10	教育委員会のとびら P17	おおきくなあれ 他 P22
シマの話 P11	すこやかニュース P18	くらしのカレンダー P24

きましては、春先の低温、台風被害等により品質に大きく影響が出ており、厳しい年になること予想されます。

町といたしましては、生産者の生産意欲ならびに生産向上に向けて、土作り対策や優良種苗の供給、管理機械、収穫機械の機能向上への助成、害虫駆除のための農薬の助成など各般の施策を引き続き行って参ります。

さらに国の基金事業を活用し、各関係機関・団体と一体となつて収穫面積の確保並びに単収向上に取り組んで参ります。

畜産振興につきましては、昨年度から枝肉相場の安定や全国的な子牛不足による需要増により、子牛価格は上向いており、27年1月セリにおいては、平均50万円台という高価格の相場になり安心していると伺っております。

また、本町の肉用牛生産は豊富な草資源を活用した繁殖経営が行われ、年6回のセリ出荷頭数も1300頭を超え、畜産振興が図られてきております。



子牛初セリ市

そのような中、粗飼料自給率を高めるなど生産コストの削減を図り、課題である飼養戸数の増加にらなるように、研修制度を利用した2、3頭飼いの新規農家確保に努めて参ります。また、本年度も増頭を目的とした推進事業を行うことで産地間競争に負けない足腰の強い肉用牛農家の強化を図って参ります。

園芸振興につきましては、新たに園芸推進員を配置し、畑地かんがい施設を利用した作付面積の拡大を推進しております。今後も、各種支援事業を有効的に活用しながら、農家の所得向上を図ります。

野菜・花卉については、重点品目の上マト・カボチャ・メロン・ソフメ・菊を中心に各種事業を推進し、その他野菜についても新たな露地品目の試験栽培及び農家への現地試験を行い園芸の面積拡大を図ります。

果樹については、マンゴトが近年新規栽培者や面積も増え、生産量も増加傾向であります。今後は栽培講習会による技術の習得や品質向上を目指すして参ります。在来柑橘やタンカンなどの柑橘類がゴマダラカミキリムシの蝕害を受け、枯れる被害が以前から発生しており、被害軽減のためゴマダラカミキリムシの買い取りを引き続き継続して参ります。

ゴマ振興につきましては、昨年の春先の低温、雨が多かつたことから発芽せず、さらに相次ぐ台風被害により過去最低の生産量となりました。

ゴマは気象条件により、生産量が不安定な品目であります。が、日本の産地としてサトウキビ新植夏植前の間作として重要な品目でありますので、例年通り継続的に支援事業を行い、面積拡大と品質向上を

図って参ります。

特殊病害虫防除対策については、カンキツグリーニング病が平成23年度で根絶を達成することができ、新たな発生を生まないために侵入警戒事業を昨年に引き続き、行って参ります。

アリモドキソウムシは平成22年度より喜界町全島を調査範囲とし、不妊虫放飼、密度抑圧防除、トラップ調査と段階的に撲滅を図っております。今後も、調査結果を反映しながら、早期根絶へ向けて邁進して参ります。

営農支援センターにつきましては、サトウキビの増産を



きび原料輸送出発式

的とした補植用・芽苗の生産販売、パッションフルーツ・パパイア等の苗を販売供給し果実作物の普及に取組んで参ります。併せて島ミカンの果樹類も苗木の増殖を行い町民に販売して在来ミカンの保存を図って参ります。また、家庭菜園用のその他野菜につきましても旬な時期ごとに栽培講習会を行い、地場産野菜の普及、地産地消に取り組みます。

また、同センターの施設等を活用して研修生を受け入れ、新規就農者・農業後継者の育成にも取り組んで参ります。

農産物加工センターにつきましては、在来そら豆を原料とした加工品の商品開発に取り組んでいきます。

昨年より加工業者の施設の利用も増加したことに伴い、加工商品のバリ干シヨシや生産量が増え、群島内でも喜界島の農産物加工品は高い評価を受けております。

また、胡麻洗浄選別の受託を行っています。が年々利用者が増えつつある中、さらなる選別機の能力アップにより、多くの利用者に対応できるよう施

設の整備に取り組んで参ります。

今後とも、商品開発の拠点として喜界島ならではの農産物を活かした商品開発の推進を図り、施設の利用促進につなげて参ります。

農村整備につきましては、県営事業を中心に整備を進め、区画整理・土層改良・排水対策・海岸保全を継続して実施して参ります。また、地下ダム施設の維持管理運営や農地・農道等の管理保全も継続し、日本で最も美しい村連合加入に恥じないよう景観対策にも力を入れて参ります。

以前より要望のありました力入の農作物被害対策についても、本年度は捕獲小屋2基を設置し、その被害対策に取り組んで参ります。

林業振興につきましては、森林は、多様な環境保全と二酸化炭素吸収作用で重要な役割を担っており、本町においても、造林・森林管理を進め、特に島の水瓶である百之台地区は唯一の森林地帯でほとんどが人工林であり水源涵養として公益的機能を高めて参ります。



シイタケ駒打ち体験・早町小

また、海岸においての森林は、台風等被害軽減を目的とした重要な防災林で、景観対策も含め整備を行うて参ります。

水産業につきましては、離島漁業の活性化を図るために、離島漁業再生支援事業を継続して参ります。

また、魚食推進事業も継続して推進し、島内消費向上に努めて参ります。

さらに、クルマエビ・海ぶどう等の水産物の本土への輸送費を補助する輸送コスト支援事業を活用し、漁業従事者の経営安定・所得向上に努めて参ります。

商工業の振興につきましては、景気回復を実感することが出来ないなか、町内の商工業は依然厳しい状況にあります。そのため、事業所の経営安定と基盤強化を図るため、引き続き商工等資金利子補助の支援を継続して行います。また、事業所自らが消費者動向などの社会的ニーズを的確に把握し、経営革新や創造的な活動への転換を図って生産性や購買力強化に取り組みやすくするよう関係機関等と連携して支援策を確立して参ります。

その他、商工会等が中心となつた商工業活性化を目的としたイベント開催の支援や商品開発、人材育成といった「ひとものづくり」を積極的に推進して参ります。

観光につきましては、既存の公共施設や集落に点在する空き家などを活用し、アイデアとおもてなしの心を持った観光事業が活発化しております。このような事業を今後も支援するとともに地域固有の歴史や文化、産業を絡めた観光を推進するため、多角的視点で

観光メニューをコーディネートできる人材育成も併せて取り組んで参ります。

また、引き続きオンラインでの観光地づくりに必要な光の当たっていない地域資源の掘り起こしやその磨き上げ、それから観光資源の一つであるツアーガイドの育成も強化を図って参ります。

2 生活と福祉の充実したまちづくり

(生活環境の整備)

(1) 公営住宅・下水道・街なみ環境整備

公営住宅につきましては、湾宮戸団地の建替え事業を継続し、本年度は1棟5戸の整備



海開き

を行います。また、「公営住宅長寿命化計画」に沿って志戸桶団地の外壁・屋上改修を行い、長寿命化を図り更なる住宅管理の経費縮減に努めて参ります。

下水道事業につきましては、平成26年11月に工事を完了いたしました。今後は、施設の有効利用を図るとともに、引き続き接続率の向上に努め、生活環境の改善と公共用水域等の水質保全を図って参ります。

農業集落排水事業は、施設の機能保全・維持のために調査・計画の策定を行います。

また、個別処理の合併浄化槽設置整備事業も前年度に引き続き実施し、水環境の保全を図るため、更なる啓発普及拡大に努めて参ります。

(2) 簡易水道

簡易水道事業につきましては、水質検査計画に基づき定期的に水質検査を実施し、お客様に安心安全な水の安定供給に努めて参ります。

西部地区簡易水道は、平成23年度の着手から5年目になります。事業の早期完成を目

指して、引き続き浄水場、導水管の整備と平行して、主に湾・赤連地区の配水管を整備いたします。

また、平成29年度の公営企業会計の法適化に向けて、資産調査等を行うなど、移行業務に取り組んで参ります。

(3) ごみ処理

ごみ焼却施設クリーンセンターは、供用開始から20年以上が経過しましたが、設備の年次検査や必要な補修を行いながら、施設の安全と長寿命化を図ります。管理型最終処分場の整備については、今年度も引き続き環境影響調査等を実施して参ります。

また、使用済み小型家電については、昨年の実証事業を踏まえリサイクルを実施し、ごみの減量化に取り組みながら循環型社会形成の推進に努めて参ります。

(4) 消防・防災

東日本大震災を教訓に、防災対策につきましても優先順位をつけて取り組んでいるところがございます。

災害時の有効な情報伝達手段である防災行政無線のデジ



出初め式

タル化に向けた本格的な改修工事に取りかかります。

コミュニティセンターは避難所としての機能強化を図るために非常用電源の整備を進めているところですが、継続的に環境整備を進め、備蓄用食料や日用品につきましても限られた予算の中で年次的に確保してまいります。

防災訓練につきましては自主防災組織を中心に図上訓練等を実施していますが、新しい地域防災計画及び災害時要援護者支援プランを元に総合防災訓練を実施し、町民の更なる防災意識の高揚を図ってまいります。

また、用地購入が完了した通信所跡地、アンテナ跡地につきましては、給食センター建設やヘリポートの整備を順次進めながら新たな活用方法についても町民のニーズに応じて計画して参ります。

(社会福祉の充実)

福祉施策全般につきましては、少子・高齢化の進行、生活習慣病の増加など、近年、家庭や地域を取り巻く環境は急激に変化しています。

このような中において、健康づくりや子育て支援、高齢者や障がい者支援など、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を推進するため、福祉、医療、介護、健康増進等施策の充実に努めて参ります。

高齢者福祉事業につきましては、各地域長寿会や連合会への補助、敬老パス事業を引き続き実施し、高齢者の方々が、できる限り住み慣れた地域や家庭の中で安心して暮らしていけるよう支えて参ります。なお、敬老金支給事業につきましては、支給対象年齢及び金額の見直しを図りたく、関係条例を上程いたしま

す。

障害者福祉事業につきましては、重度心身障害者医療費助成事業や身体障害者協会、手をつなぐ親の会への補助を行うとともに、地域活動支援センター事業はNPO法人喜界福祉ネット「こま畑」に引き続き委託し、障害者の支援を図って参ります。

乳幼児等医療費助成事業につきましては、平成27年度より、子ども医療費助成事業に名称を改め、助成対象を18歳までに引き上げ、子育て家庭の医療費軽減を図って参ります。

母子保健事業につきまして



いきいきサロン

は、安心して子供を産み、育てることのできる環境づくりのため、不妊治療や妊婦健康診査及び出産時の旅費助成、未熟児の医療費助成、喜界徳洲会病院への医師旅費助成など、出産・育児支援に努めて参ります。

なお、平成27年度は出産時の宿泊費助成を21日から31日に拡大し、妊産婦家庭の経済的負担軽減を図って参りたいと思っております。そのための関係条例を上程いたしました。

健康増進事業につきましては、肺がん検診や胃がん検診等、各種検診を実施し、病気の早期発見・早期治療につなげるとともに、町民の健康づくりの指針「健康きかい21」に沿って、生活習慣に起因する健康課題の改善に取り組んで参ります。

また、新型インフルエンザ等の感染拡大に備えるため行動計画を策定いたしましたので、併せて議会にご報告いたします。

今後、町民に広く周知し、心身ともに健康で安心して暮

らせるまちづくりを目指して参ります。

児童福祉事業につきましては、子育て支援センター及び放課後児童クラブを引き続き実施し、子育て世代の悩み相談や放課後も保護者が安心して働ける環境づくりに努めて参ります。

また、療育を必要とする未就学児の通園事業「てくてく教室」の更なる充実に努めると共に、療育を必要とする児童（小学生）を支援するため、放課後等デイサービスの準備を進めて参ります。

青少年問題及び児童虐待、DV防止につきましては、学校並びに関係団体との連携を一層強め、対応して参ります。

国民健康保険事業につきましては、近年の保険料の減収や介護納付金、後期高齢者医療支援金等の増大が国保財政を圧迫していますが、平成27年度国保税は現状を維持し、収納率の向上や特定健診等の受診率向上による疾病予防の推進、レセプト点検の充実等を図りながら、財政改善に取り組んで参ります。



また、人間ドックやPET検査を継続実施し、重症疾病の早期発見に努めると共に、はしご受診・頻回受診の防止を図り、医療の適正化と医療費の抑制に努めて参ります。

国民健康保険診療所につきましては、現在、月1回4日間の診療を実施しておりますが、新年度より第2週と第4週を基本に月2回8日間の診療を実施いたします。

介護保険事業につきましては、制度開始から16年目（第6期）を迎えるにあたり、国において様々な法律改正が行われました。これに伴い本町においても、高齢者保健福祉

計画（第6期介護保険事業計画）を策定し、高齢者保健福祉計画運営協議会で慎重なご審議いただき、本議会にご報告申し上げ、併せて「喜界町介護保険条例の一部を改正する条例」を上程いたします。

また、今回の制度改正については、地域説明会の開催や各戸へのリーフレット配布にて周知しておりますが、今後とも改正点や保険料について町民に丁寧の説明し、介護保険事業の周知に努めて参ります。

地域包括支援センターにつきましては、介護予防事業や認知症予防施策に重点を置くとともに、日常生活において支援を必要とする高齢者等の総合窓口として、虐待防止・権利擁護の対応、また介護サービス以外の様々な包括的・継続的なマネジメントを行うて参ります。

また、「高齢者元気度アップ事業」「配食サービス」につきましても、継続実施するとともに、新規事業として、3名以上のグループによる主体的な見守り活動などを行うボランティア団体に対し、ポイント

付与する「高齢者元気度アップ地域活性化事業」を実施いたします。

後期高齢者医療につきまして、平成20年に制度がスタートして以来、順調に推移しており、今後とも制度の円滑な運営に努めて参ります。

老人福祉施設につきましては、入居者に対して、より快適な老後が送れる施設であるとともに、更なるサービス提供に取り組み、「老いて、なお幸せ」が実感できるように努め、今後とも健全で良好な特別会計を維持していけるよう、努力して参ります。



3「ふるさとと自らに誇りをもつ教育」の推進と生涯学習の町づくり
『21世紀をたくましく生きる子どもの育成』

教育についてでございますが、少子化・高齢化が進行している本町に於て、町の豊かな未来を築く上から、教育による人材育成は喫緊の課題であります。

長寿社会の到来に伴い「生きがい」づくりを支援する生涯学習の基盤づくりも重要な課題であります。

町としましては、平成24年度に行われた学校再編の成果を生かして、学校環境の整備教材備品等の充実、学習環境の整備充実を図り、21世紀をたくましく生きる子どもたちの育成に取り組んで参ります。

また、町民が「心身共に健康で、生涯にわたって生きがいをもって、充実した人生」が送れるよう、「学びの場づくり」、「スポーツ活動の充実」等に向けた環境づくりを支援して参ります。

本町には、先人の残した数々

の文化財があります。喜界町埋蔵文化財センターを活用し、城久遺跡群の普及啓発に努めてまいります。また、平成27年度に鹿児島県全体で開催される国民文化祭に向けて、島内での伝統文化の継承のみならず、島外への発信や他の伝統芸能団体との交流に対する支援も行ってまいります。

教育は国づくり・町おこしの根幹に関わることであります。町といたしましては教育の充実に向けて力を注いで参ります。

学校教育においては、平成24年4月に学校が再編され、再編4年目を迎える今年は適正規模の学校環境の中で21世紀をたくましく生きる力を身につけた子どもたちの育成を図ってまいります。

5月から、土曜日の半日単位で月1回程度（原則第2土曜日）に教育課程に位置付けた土曜授業を実施し、保護者、地域住民、関係団体等との連携を強め、土曜日に実施することの利点を生かすなど、社会全体での教育力の向上に努めます。



喜界中学校体育祭

施策の推進にあたっては、平成23年12月に策定した『喜界町教育振興基本計画』に即して学校教育、社会教育を推進してまいります。

教育行政の基本理念として『ふるさとと自らに誇りをもつ教育』と『生涯学習のまちづくり』を掲げ、その推進を図ります。そのために、

- 1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す人間の育成を図ります。

- 2 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、

これからの社会づくりに貢献できる人間の育成を図ります。

学校教育の推進に当たっては、

- 1 『確かな学力』と『豊かな心』『健やかな体』の育成を重点目標に掲げ、その達成に向けて努力して参ります。

そのために幼小保育参観・授業参観等の実施など幼稚園・小学校の連携の推進、小中学校相互乗り入れ授業の実施など連携型小中一貫教育を目指した取組の推進、中高合同進路講演会の実施や相互乗り入れ授業の実施など、中高一貫教育の成果を上げるべく推進強化に努めて参ります。

- 2 『喜界島の子どもたちもやればできる』の合い言葉のもと、可能性への挑戦と向上心を強く意識させ、『教育の成果を児童生徒の姿で語る』ことを指標として取り組みます。また、教育の成果を上げるために、学校と家庭、地域が連携を密にし、一体となってそれぞれの教育機能を発揮できるように支援して参ります。

そのために、学力向上対策会議や学力向上推進委員会等、学校と家庭・地域が一体となって取り組む場をつくって参ります。

- 3 学習指導法の改善や家庭との連携を密にして、基礎的・基本的な知識・技能やその活用力をきちんと身につけさせ、取りたい資格、行きたい学校に行ける学力の定着を図ります。

そのために全教員一人年一回研究授業の実施や家庭学習60・90運動などを推進して参ります。

- 4 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の充実

努めて参ります。その一貫として、あいさつ、聞く態度・発表する態度の鍛錬、暗唱教育の実践や小学校との交流学習を推進します。

- 5 全国的に『いじめ』が問題となっており、平成25年9月に施行された『いじめ防止対策推進法』で市町村による方針策定が努力義務化されています。それを受けて、本町においても実効性のある体制で積極的にいじめの未然防止、早期発見・早期対応などに取り組んで参ります。そのために、実情に応じたいじめの防止等の対策を総合的かつ効果的に推進するための『喜界町いじめ防止基本方針の策定』、『いじめ問題対策連絡協議会の設置』、『重大事態発生等に係る調査組織の設置』等を整備していきます。また、道徳教育の充実、一人一人を大事にする学級活動の実践、人権同和教育や生徒指導の充実等を図り、いじめの根絶に努めて参ります。

- 6 健常者と障害のある人が共に暮らす『ノーマライゼーション社会』の創出が課題になつて



成人式

いますが、各学校に支援員、幼稚園に補助職員を配置して、その実現に向けて『特別支援教育の充実』を図って参ります。

7 外部コンクールへの積極的応募や5月の『夢育て強調月間』の実施等による『夢・志』の育成とそれに向かって努力する子どもの育成など、『やる気にみちた人材の育成』を図ります。

8 町図書館、中央公民館の歴史民俗資料室及び埋蔵文化財センター等を利用して、ふるさととの産業・歴史・文化などの調べ学習や伝統文化の積極的な継承活動など、『喜界島らしい教育』を推進し、ふるさとに誇りをもつ子どもの育成に努めます。

9 小学校1年生からの外国語活動の実施、キャリア教育の小学校からの導入など『特色ある教育』の推進を図って参ります。

社会教育においては、『生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興』を基本理念に、『心豊かで、活力にみちたつるおいの町』づくり



町民体育祭

をめざして、町民が心身共に健康で、生涯にわたり、生きがいを持って、充実した人生を送れるよう、『学びの場』づくりに努め、全ての人が気軽に学ぶことができる『生涯学習の町づくり』に取り組んで参ります。そのために、

1 生涯学習の一層の充実を図るために、関係機関相互の連携強化や生涯学習情報の提供促進に努めます。
2 町民の学びの場の提供、生き甲斐づくりの支援の観点から、公民館講座、地域講座などの拡充や読書活動の充実を図り、各年齢層に応じた学習機会の拡充に努めます。

3 学校と地域との連携・協力体制による学校応援団を拡充し、地域全体で学校を支える取組を推進します。

4 社会教育関係団体の活動の活性化を図るために、社会教育諸条件の整備・拡充に努めるとともに、各種研修会を開催いたします。

5 家庭教育・成人教育の充実を図るために、家庭教育学級・校区長寿者学級を開設し、学習機会の拡充や学習内容の充実に努めます。

6 青少年活動の充実を図るため、ジュニア・リーダー養成講座の実施や学校再編後の子ども会活動の支援に取り組んで参ります。青少年健全育成では、青少年育成町民会議や校外生活指導連絡会と連携を図りながら、地域全体で子どもを育む環境づくりに努めます。

また、今年には戦後70年であり、伊佐市（旧菱刈町）との姉妹町盟 約50周年という節目の年であります。これを機に戦争体験などの歴史学習や伊佐市との青少年交流に取り組んで参ります。

7 先人が守り育ててきた他に誇れる素晴らしい伝統文化や文化財の継承や保存・活用を努めます。平成26年3月18日に国指定天然記念物となつた荒木・中里海岸「喜界島の隆起サンゴ礁上の植物群落」の保護、また、平成26年度4月に開設した埋蔵文化財センターにおいて、出土品等の展示の工夫改善に努め、参観の便宜を図ります。さらには、シンポジウムを開催し、国指定に向けて気運を高めて参ります。



島内一周駅伝競走大会

また、10月31日から11月16日までの16日間、県下で斉に「第30回国民文化祭」が開催

されますが、本町では「郷土芸能フェスティバル in 喜界島」と「境界領域のダイナミズム in 喜界島」のもと、島唄・八月踊り、埋蔵文化財のシンポジウム等を行ってその継承・発展に努めると同時に、文化の交流や喜界島の魅力発信に努めて参ります。

8 明るく活力に満ちた豊かな人生が送れるよう、スポーツ活動の支援と環境整備に全力を尽くして取り組みます。

特に、広報活動に力を入れて、平成23年度に設立いたしました総合型地域スポーツクラブ（きかい100スポーツクラブ）への町民の加入を促進し、より多くの町民が『いつでも、どこでも、いつまでも』スポーツに親しめる環境づくりに努めます。

また、本町で開催される県民体育大会・大島地区大会（グランドゴルフ）などの運営に万全を期して取り組んで参ります。

さらには、島内一周駅伝競走大会は平成27年度で第50回目を数えるので、記念大会にふさわしく、心に残る大会に努

めて参ります。

9 体育施設・設備の充実に
ついては、町民の健康増進とス
ポーツに対するニーズに応え
現在ある施設の安全点検・整
備・補修に努めます。

4 地域発展の基礎づくり (町土の有効利用)

農用地につきましては、農
用地・採草放牧地の総量確保
と、地域に根ざした意欲と能
力のある担い手の確保・育成
を通じた農業の持続的な発展
を図って参ります。国の新し
い施策で設置される農地中間
管理機構との連携により、農
地基本台帳の整備・農地地図
システムの充実、耕作放棄地
の解消・担い手農家への農地
集積や優良農地の確保・有効
活用等の指導推進を図って参
ります。

また、農業者の老後の生活
安定及び福祉の向上に資する
ため、農業者年金の加入推進
活動にも努めて参ります。

地籍調査事業につきましては
は、本年度は、小野津・手久
津久集落の各一部を実施いた
します。地籍調査の成果であ
る地籍図、地籍簿について



新造船フェリーきがい初寄港

は、各種公共事業等の基礎で
あり、多方面から早急な整備
が望まれているところです。
平成26年度末における進捗率
は、土地改良事業と合わせ全
体で36・7%でございます。

(交通通信体系の整備)

港湾及び漁港整備につきま
しては、船舶の安全な航行や係
留等を図る為に沖防波堤の整
備を行っております。本年度は
喜界島港(志戸桶地区・浦原
地区)の沖防波堤並びに志戸
桶地区の物揚場を整備して参
ります。

町道等交通基盤整備につき
ましては、早町小学校周辺の通
学路拡幅整備工事、また湾宮

戸地区の道路整備を引き続き
行います。

各公園施設や公共施設につ
きましては、快適且つ安全で利
用者すべての方々に親しまれ
愛される施設、さらには利用
したくなる施設として適正な
管理運営を図って参ります。

(共生・協働)

大切な地域資源のひとつであ
る学校跡地につきましては、阿
伝小学校跡地は農産物加工施
設、坂嶺小学校は福祉事業
滝川小学校跡地は埋蔵文化財
の拠点施設、小野津小学校跡
地については、地域文化の交流
にとどまらず宿泊体験学習施
設で活用されていますが、平成
27年度より早町小学校跡地に
北海道大学等による「喜界島
海洋地質研究所」が正式に又
タートし、幅広い役割が期待さ
れております。

町の維持発展のためには、集
落を元気にする地域の活性化
施策は欠かすことの出来ないも
ののひとつだと認識しておりま
す。地域興しの基本は集落で
す。集落活性化交付金事業を
更に充実させなるべく有効な活用
手段を探しているところについ

ますが、昨年度に引き続き本
年度も、形態を変えて地域の
皆様方からご提案いただいた案
件について件数を絞って支援して
いくことを考えているところで
集落の特性を活かした様々な
アイデアを期待しております。

5 行財政の合理化 (事務処理の合理化)

窓口業務につきましては、
正確・迅速・懇切を基本理念
として、特に町民の身分及び
行政サービスの基礎となる戸
籍事務などについて職員の研鑽
に取り組んで参ります。

また、昨年度より県からの権
限委譲により製品表示3法に
基づく販売店への立入検査を実



宿泊体験学習施設開所式

施しておりますが、町民生活の
安心・安全の向上を図り、町民
にとりて利用しやすい「ワンスト
ップ行政」に努めて参ります。

町広報誌は、町民への施策
の周知や島外の出身者への情
報提供のため、親しまれる紙
面づくりに努めて参ります。

本年度も常に新鮮な情報発
信を念頭に、広い視野で取材し
的確な情報を提供いたします。

以上、平成27年度の町政運
営につきまして、「心豊かで活
力に満ちたうるおいのまち」を
基本理念とし、平成23年度よ
り10カ年計画として策定され
ました、「第5次喜界町総合
振興計画」の5つの基本目標に
そつて所見を申し上げます。

本町がより一層飛躍ができ
るよう、創意工夫による自主・
自立のまちづくりに気概をも
つて取り組み、「小粒でもきらり
とかがやくい島」をめざし、
全ての町民の皆様が将来に明る
い希望の持てる地域社会を構
築して参る決意であります。

どうか議員各位をはじめ
町民の皆様の変わらぬご理解と
ご協力をお願い申し上げます。施
政方針いたします。

平成 27 年度喜界町役場職員 人事異動一覧表(平成 27 年 4 月 1 日付)

昇格	氏名	新任職	前任職
(課長級)			
	武田 秀伸	総務課長	住民課長
	嶺岡 寿一	住民課長	教育委員会総務課長
	金江 茂	農業振興課長	建設課長
	加島 英郎	建設課長	早町支所長
	吉行 進	企画観光課長	企画課長
○	初 秀樹	老人福祉施設長	産業振興課長補佐(兼)農産物加工センター所長
○	値 貞豊	早町支所長	税務課長補佐
○	幸田 勝光	教育委員会総務課長	教育委員会総務課長補佐
○	武藤 裕和	税務課長	総務課長補佐(兼)選挙管理委員会事務局長
○	菊地 勝彦	建設課参事(兼)空港管理所長	建設課長補佐(兼)空港管理所長
(課長補佐級)			
	和田 政次	早町支所長補佐	農業委員会事務局長補佐
	勝 昭則	農業振興課農産物加工センター所長	産業振興課営農支援センター補佐
	寿 隆彦	農業委員会事務局長補佐	水環境課長補佐
	豊 雅則	水環境課長補佐	建設課長補佐
	徳 勝志	企画観光課長補佐(兼)地方創生推進室長	企画課長補佐(兼)地方創生推進係長
	実田 輝満	企画観光課長補佐(兼)情報通信政策係長	企画課長補佐(兼)情報通信政策係長
	美沢 勝秀	農業振興課主幹(兼)換地係長	産業振興課主幹(兼)換地係長
	叶 一寿	農業振興課営農支援センター所長	産業振興課営農支援センター所長
	永井 昌徳	農業振興課技術補佐(兼)耕地係長	産業振興課技術補佐(兼)耕地係長
	英 憲仁	建設課長補佐(兼)港湾係長	建設課主幹(兼)港湾係長
	上地 義隆	農業振興課長補佐(兼)園芸係長	産業振興課主幹(兼)園芸係長
○	菊地 典子	教育委員会総務課長補佐	教育委員会総務課庶務係長
○	喜島 正樹	総務課長補佐(兼)選挙管理委員会事務局長	総務課財産管理係長
○	廣 清太	税務課長補佐	税務課固定資産係長
○	光 恵美子	保健福祉課主幹(児童発達支援事業所)	保健福祉課係長(児童発達支援事業所)
(係長級)			
	伊地知 典子	保健福祉課係長(児童発達支援事業所)	教育委員会あゆみ幼稚園
	來 広枝	保健福祉課係長	住民課年金係長
	今井 章貴	建設課建築係長	宮城県気仙沼市派遣
	榮 良治	企画観光課地方創生推進室係長	保健福祉課係長
	八木 敏文	企画観光課係長	企画課係長
	吉田 圭志	農業振興課農政係長	産業振興課農政係長
	柳 卓也	農業振興課糖業係長	産業振興課糖業係長
○	久山 みよ子	老人福祉施設係長	老人福祉施設主査
(主査級)			
	盛山 由香	住民課主査	保健福祉課主査
	久 郁弥	農業振興課主査	保健福祉課主査
○	野崎 拓司	教育委員会生涯学習課主査(埋蔵文化財センター)	教育委員会生涯学習課主事(埋蔵文化財センター)

昇格	氏名	新任職	前任職
○	相良 忠之	水環境課主査	水環境課主事
(一般職)			
	住岡 京子	老人福祉施設看護師	保健福祉課看護師
	巖 泰斗	総務課	大島農業共済組合出向
	上地 義光	農業振興課営農支援センター	産業振興課
	吉岡 喜治	教育委員会生涯学習課(中央公民館)	産業振興課
	久保 恭平	保健福祉課	企画課
	恵 翔太	農業振興課	教育委員会生涯学習課
	輝 政和	農業振興課農産物加工センター	産業振興課農産物加工センター
	金久 貴人	農業振興課農産物加工センター	産業振興課農産物加工センター
	園田 裕一郎	農業振興課	産業振興課
	實 浩希	農業振興課	産業振興課
	穂積 鉄也	農業振興課	産業振興課
	久保 孝介	農業振興課	産業振興課
	豊島 正季	企画観光課	企画課
	廣司 泰樹	企画観光課	企画課
	郷田 杏里	企画観光課	企画課
(幼稚園)			
	値 春美	教育委員会のぞみ幼稚園	教育委員会あゆみ幼稚園
	揃江 由美	教育委員会あゆみ幼稚園	教育委員会のぞみ幼稚園
(出向)			
	澄岡 翔平	鹿児島県市町村課研修	住民課
(新規採用)			
	吉住 広夢	企画観光課	
	中山 勝史	農業振興課	
	有村 勇輝	住民課	
	作井 雄平	税務課	
	神川 亜紀	保健福祉課保健師	
	繁田 早紀	保健福祉課	
	直 昇平	保健福祉課	
	前島 将太	教育委員会生涯学習課	
	岩元 さつき	教育委員会生涯学習課(埋蔵文化財センター)	
	政元 保那美	教育委員会あゆみ幼稚園	
(退職者)平成 27 年 3 月 31 日付			
	隈崎 悦男		総務課長
	榮 常光		産業振興課長
	叶 日出克		税務課長
	金井 勝芳		老人福祉施設長
	得本 拓		教育委員会生涯学習課参事(中央公民館)
	小林 学		早町支所長補佐
	米盛 照代		保健福祉課参事(児童発達支援事業所)
	吉田 信子		老人福祉施設主幹(兼)看護師長
	上 督操		教育委員会給食センター係長

異動 54 人、新規採用 10 人、退職者 9 人

島の話題

離島と学生をつなぐ掛け橋に
島キャン

学 生が離島で職場体験をしながら
島興しをする『島興しインター
ンシップ（通称：島キャン）（カケハシ
ソリューションズ（東京都新宿区）主
催』で、3月初旬～中旬にかけての
2週間、島外から2人が来島した。

『黒糖焼酎づくり体験』ができる
朝日酒造株式会社には、内藤友香さん
（茨城県）が焼酎に使うサトウキビの



発掘作業をする高橋さん（左）と箱詰め作業をする内藤さん（右）

伐採から仕込み、瓶詰めまでの二連の製造過程を体験。内藤さんは「仕事を生活の手段としてだけでなく、本当においしい焼酎を作るために誇りを持って取り組んでいると感じた。島に対する強い思いも伝わった。私もこの人たちのように仕事などに誇りを持つ人になりたい。また、ここで教わったことを多くの人に伝えることが私の役割。広告塔として喜界島をPRしたい」と目を輝かせながら想いを語った。

『文化財発掘調査体験』ができる埋蔵文化財センターには、高橋碧美さん（東京都）が、手久津久の川寺遺跡などの発掘作業から分類・仕分け作業を体験。高橋さんは「発掘作業は見た目以上に重労働だったが、プロ意識を持って作業している様子など学ぶ点も多かった。島は人の繋がりがすごく深く、頻りに野菜などをおすそわけしたり、同年齢というだけで気軽に声をかけて集まったりして、東京ではできない貴重な体験ができた。島民の方がうらやましい」と感想を述べた。

島おこしインターンシップは、主に大学・大学院生を対象とし、離島で観光業、製造業、サービス業、農業など様々な職業体験を通して、町おこし・地域活性化に貢献するプロジェクト。

学生らが島の暮らしを体験
花良治移住体験ツアー

奄 美群島広域事務組合が主催する『花良治移住体験ツアー』が
3月4日～8日の5日間、花良治集
落内を活動拠点として開催された。

ツアーには立教大学（東京都豊島区）の学生など7人が参加。集落内を調査し地図を作成したり、花良治おもてなしハウスの看板などを製作した。製作後には看板が掲げられ、看板除幕式や祝賀会などで集落民との交流を楽しんだ。

同大学の加藤友さんは「イメージしたより家屋が多く建ち並んでおり驚いた。集落の方々も親切にしてくれて、短期間だったが南国生活が体験できてよかった」と感想を述べた。



ツアー参加者によって作成され、掲げられた看板

南国の喜界島で
過去最低の5・0度を観測！



空港内に設置されているアメダス観測測器（福岡航空測候所喜界航空気象観測所）

奄 美地方は3月12日の深夜から13日朝にかけてかなり冷え込み、本町でも13日午前4時半頃、喜界空港内に設置されている雨量などを計測するアメダス観測測器で、観測史上最低の5・0度を記録した。

また、今年2月11日、同月としては最低の観測記録となる5・7度を記録。奄美群島でここ10年間、発令されたことがない霜注意報も同月中旬に発令された。

名瀬観測所によると、本町で記録されている最低気温は平成17年3月に観測されている5・1度だったが、今回はその最低温度をさらに更新した。雪が降らない南国・喜界島でいつか雪が見られる日がくるのだろうか？

世の話題

世界平和の願いを込めたメッセージボトルが中東・イランと喜界を結ぶ

世界平和の願いを込めたメッセージボトルが、中東・イランの人々と

町民を結ぶ掛け橋となった。

これは一昨年の5月上旬、介見友光さん（湾在住・51才）が荒木遊歩道周辺の海岸で散策中、手紙の入った瓶が漂着しているのを見つけ、これを観光物産協会の東亮輔さんに話しボトルを渡した。東さんは、自転車でユーラシア大陸横断を目指す河原啓一郎さんが喜界島に滞在していることを知り、送り主を探すことを依頼。了承した河原さんは喜界島を発ったあと中国に入り、旅を続けながらカザフスタンなどを経由して今年イランに入国。地元メディアとともに送り主を探し当てた。

送り主は、イランのアフヴァーズに住むアミールカランタールさん（28才）。アミールさんは一昨年の冬、イランから台湾に向かう船で調理人として働いており、船上から3、4個ボトルを海に放ったという。

そして、3月21日の早朝、東さんの友人・杉保紘二朗さん宅でインターネットを介してテレビ電話ができる「スカイプ」を使い、イランのアミールさんと発見者の介見さんと東さんを繋ぎ、3人は通訳を介して対面した。

アミールさんは「寄港した先々でイラン人というだけでひどい扱いを受け、ボトルを海に放った日はとても疲れていた。ただ平和を願い、皆と仲良くしたいと思っていただけなのに。人が手を繋ぐ絵を描いたのは世界の人と仲良くしたいというメッセージだった。今回そのおかげで、日本の友達ができる本当に嬉しい」と語った。また、今回の件は地元メディアにより映像化される予定。



スカイプの画面(提供写真) スカイプの画面を見るボトルを拾った介見さん(右) 【提供写真】 【提供写真】 漂着したメッセージボトル アミールさん(左)と河原さん(右)

世界遺産登録を目指す奄美群島をマラソンを通してPRしたい!

奄美群島をマラソンで一周することを目指す前川義一さん

(茨城県・奄美市出身・64才)が3月18日に来島し、第一ホテル前を発着点とした県道を半時計周りに一周するコースを約4時間で完走した。

前川さんは、57才でマラソンを始め、今でも月200キロの練習は欠かさない。世界遺産登録を目指す奄美群島をPRする方法はないかと模索していたところ、趣味のマラソンでPRすることを決意。今年1月に奄美市役所をスタートし、仕事の合間に茨城と奄美を往復しながら群島内を走り続け、自身のホームページやメール等で情報発信している。今後は、徳之島、沖永良部島などを走り、ゴールは来年末を予定。



奄美を少しでも多くの人に知ってもらいたいと話し、走り続ける前川さん

かこしまの『食』交流の推進を



同グループの共通目標や課題を確かめ合った

農

林漁業の振興などを目的として活動する奄美地区生活研究グループの平成26年度総会が3月10日、役場コミュニティホールで行われ、奄美群島内で活動する同会員ら約70人が出席した。

あいさつで栄和子前会長は「一人の力は小さいけれど、皆が知恵を出し合い元気に活動することが地域の活性化に繋がる」と述べた。

生活研究グループ連絡協議会とは、ゆとりある生活の研究や知識・技術等の情報交換を行い、男女がともに参画する豊かで活力ある地域社会の実現及び農林漁業の振興に資することを目的として活動している。

喜高OB・OGが、自分たちの進んできた道を後輩に語る

喜 界高校を卒業した先輩が進路を語る『OB・OG座談会』

「うもーりよ！先輩」が3月17日、同校武道館であった。会場には、今年進路選択をする同校2年生（69人）が先輩達の話に耳を傾けた。

講師は、アイランド株式会社（東京都）に勤める澄江元美さん（中里出身）と、株式会社インテリジェンス（東京都）の田向勝大さん（先山出身）、役場農業振興課の園田裕一郎さん（佐手久在住）の3人。

この会は、澄江さんらが「自分たちの話が進路選択の判断材料として役立てば」と学校側に持ちかけ実現した。会では、「なぜその進路を決定したのか」「今どのような仕事を



先輩の進路の話に耳を傾ける生徒ら



座談会で自身の体験を語る澄江さん

しているか」などの体験談をジョークを交えながら語り、また、卒業生約20人にこれまでの経歴や進路を決定した理由、後輩へのメッセージなどを寄せてもらい、取りまとめて生徒達に紹介した。

澄江さんは「自分達の時は限られた情報しかなく、その中で進路を選択するしかなかった。後輩達には、少しでも多くの情報の中で進路を選択してほしい」と思い企画した。先輩達が、どのように悩み、どういう進路を決定したかなどを知って参考にしてほしい」と力説した。

先輩達の話聞いて時本茂花さんは「これから先の進路選択を決定する不安が軽くなった。また、私もいずれ島に帰ってくると思うので、先輩方のように島のために何かしたいと強く思った」と感想を述べた。

西島昭雄瑞宝双光章が授章

内閣総理大臣から西島昭雄さんに授章されたことを受け2月26日、町長室で伝達式が行われた。

西島さんは、昭和21年に教諭として採用され、喜界町立第一中学校に勤務。以後、37年の長きにわたり初等、中等教育の充実・振興に尽力した。また、温厚な人柄と豊かな識見により子弟の教育にあたり、教職生活のほとんどを離島へき地で過ごし、へき地教育の発展に寄与した。

西島さんは、「このような賞をいただけるのは家族の協力はもとより、先輩や同僚、校区の方々などのご指導、ご協力のおかげ。みなさんに感謝したい」とお礼を述べた。



町長室で記念撮影をする西島さん（中央）

郵便局長杯第一回春季スポーツ大会 卓球&軟式野球大会



白熱した試合を展開する参加者ら

第1回郵便局長旗喜界町春季スポーツ大会（九州郵便局長協会喜界支部・きかい100スポーツクラブ主催）が2月22日、旧喜界第二中学校体育館で卓球大会、同月28日喜界中学校グラウンドで軟式野球大会が行われた。

卓球には小学生から一般まで63名が参加し、白熱した試合が行われた。軟式野球は、小学生同士や中学生対社会人選抜で行われ、好投・堅守の接戦した試合が展開された。また元喜界高校野球部監督の久保正樹さんによる野球教室も同日開催された。

喜界中学校野球部の西真生くんは「試合では打撃は良かったが、投球では社会人に打たれてくやしかった。また、野球教室で学んだことを早速試したい」と語った。（報告・梶原貴史さん）

区長が語る!! わーちゃん集落



第20回 志戸桶集落

(東部・南部)

概要

志東集落の人口は266人、世帯数は117世帯。志南集落の人口は242人、世帯数は126世帯。(平成27年2月末現在)

佐手久集落と並んで大規模畜産農家が多い集落。町内の全畜産農家60戸に対し、志戸桶の畜産戸数は13戸。頭数も300頭を超え全体の約2割を占める。

島立では、東部の西側にある高台に位置するアタイジ(辺り地)で、近くにあるウイガー(上川)の水を使って生活をしてきた。古い集落跡のアタイジには今も石垣の跡などが残っていて、かつての屋敷地であったことは明らか。アタイは屋敷の古い方言で、住居や屋敷を意味した。

志戸桶が東部と南部に分かれたのは終戦後のこと。【喜界島の民俗 竹内譲著参考】

集落行事

豊年祭り

旧暦8月25日と9月15日に行う祭り。8月は天満宮(菅原神社)、9月は保食神社に五穀豊穡を祈願する。午前は南部、東部あわせ8人で組織する頭取の長が神社に参拝する。午後は八月踊りで始まり、奉納相撲をした後、子供から大人まで約50人が白熱した相撲を展開する。

多くの集落民が参加し、他集落からも多くの観覧者が訪れ、賑わいをみせる。島内で8月25日の開催は、先山、浦原と志戸桶のみ。

志戸桶親子運動会

8月の第2日曜日に行う集落民総出の運動会。昭和47年に第1回が開催され、今年で第44回目となり歴史は長い。当日は、午前8時半に長寿会会長のテープカットで始まり、子供から高齢者までの集落民らが徒競走や玉入れ、宝(景品)釣り競走などの競技に参加し、最後は八月踊り、六調で締めくくる。この日は午後3時頃まで種目が目白押しとなっている。

また、この運動会にあわせて多くの出身者が帰省し、集落民と一緒に終日汗を流し、盛り上がる。

シバサシー

旧暦8月最初の『ひとと』に行われる節折目から5日目に行う先祖祭。厄払いのため、家の四隅や門の両側などにススキを挿し、お墓にはススキやお菓子を供える。当日は、初シバ(家族が亡くなつてから初めて迎えるシバサシー)を迎える遺族は午後3時頃から、それ以外の方は午後4時頃からお参りし、先祖に感謝する。

六月燈

旧暦6月15日と25日に行われる氏神祭。15日は保食神社、25日は天満宮(菅原神社)で午後6時頃から、持ち寄った一重一瓶で酒を酌み交わす。



七城跡



芭蕉句碑



上川(ウイガー)



平家上陸之地

戦没者慰霊祭

8月15日の午後2時から、保食神社に隣接する戦没者慰霊碑で行う。以前は、玉串を捧げていたが、現在は菊の献花をし、戦没者の御霊を弔う。

敬老会

1月2日の午後2時から、構造改善センターで集落民が70歳以上の敬老者を祝う会。70歳を迎えた初敬老と20歳を迎えた新成人が紹介され、踊りや舞踊などの演芸などを楽しむ。今年で97回となる歴史ある行事。

集落性

志戸桶の人は、畜産やメロンキウなどを最初に手がけるなど思い立つたらずぐに実行する人が多く、熱しやすく冷めやすい。さらに東部では、太っ腹で血気盛んでくよくよしない気質があり、南部は、温厚・堅実で兼業農家が多い。
観光名所など
 芭蕉句碑

町文化財にも指定されている『芭蕉句碑』は、島内産の自然石で作られ、高さは約90センチほど。正面に大きく「芭蕉翁」と書かれ、下に「春たちてまだ九日の野山哉」という1688（元禄元）年に伊賀上野で松尾芭蕉が詠んだとされる句が刻まれている。

平家上陸之地
 壇ノ浦の合戦に敗れた平資盛卿以下200余名の平家残党は建仁2（1202）年に沖名泊に漂着したと伝わる。絶えず源氏の幻影に怯える資盛主従は「七城」や「平家森」等を構築して防備を固め、さらに神の加護を祈願して「天神」「厳島」の両社を奉祀し3年間滞在した後、主力は大島へ進出したと伝承されている。

上川（ウイガー）
 厳島神社（弁財天）天満宮の隣りにある湧水・上川は、昔から集落民の水瓶の役割をしていた。またシチャミに使う水としても使わ

れ、シチャミの日は夜明け前に水を汲み、石を2、3個取ってきて枝の間に付けて、子供の成長を願う。

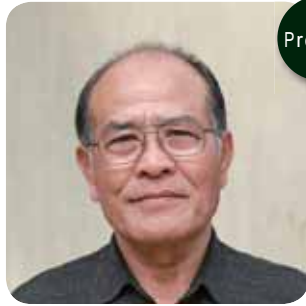
七城跡
 沖名泊に漂着した平資盛郷ら平家残党は、地勢を調べて志戸桶と佐手久の境にある増花田に居城を構え、七城と称した。七城は、太平洋に面した島の北端近くに面し、標高50メートル、面積は約一段（10アール）。海への視界は約180度で、海を見張るには有利な地形。城は東向きで東側は断崖、続いて急斜面があり、佐手久集落の畑地へと続いている。【上川以外の観光名所の内容は喜界町誌より引用・転載したもの】



Profile

松岡 博忠 区長 (64)

志南集落区長。区長歴5年。昭和25生まれ。昭和54年に帰郷し農業を始め、サトウキビやマンゴー栽培に励んでいる。「高齢化が進む中、若い人たちと一緒に集落を盛り上げ、地域活性化を図りたい」と語る。



Profile

中山 勇 区長 (66)

志東集落区長。区長歴2年。昭和23年生まれ。昭和50年に帰郷し、生和糖業(株)に入社。平成24年まで38年間勤務し定年退職。「2年目でやっと慣れてきた。これから集落の発展のために研鑽を重ねて尽力したい」と語る。

暮らしの情報 インフォメーション

イチマルマル **きかい100スポーツクラブからのお知らせ**

運動習慣つけさせましょう！

キッズenjoyスポーツサークル
第2次入会者募集



プレゴールデンエイジを対象に週1回コーディネーションや遊びを取り入れたトレーニングを行い、スポーツ好きな子や将来レベルアップを図りたい子を育成することを目的とします。

対象：4歳児から小学2年
 日時：毎週土曜日17:30～19:00
 場所：町体育館または旧学校施設

運動不足解消！週1回さわやかな汗かきましょう！

シニアenjoyスポーツサークル
第2次入会者募集

週1回ソフトバレーボールやニュースポーツを主とした軽スポーツに親しみ、こころと体の健康づくりに役立てることを目的とします。(喜界町元気度アップポイント制度適用)

対象：40歳以上男女問わず
 日時：毎週月曜日18:30～20:00
 場所：町体育館または旧学校施設

申込み用紙はクラブハウス
 または教育委員会まで！

イベントのお知らせ

- 4月25日(土)15:00～第10回きかい陸上記録会 総合グラウンド 対象：小学生から100歳まで
- 5月3日(日)8:30～スポーツ交流大会(ソフトハンドボール) 町体育館 対象：小学生
- 5月23日(土)18:00～一般向け「新」体力テスト 町体育館 対象：18歳～100歳まで
- 5月24日(日)9:00～一般向け「新」体力テスト 町体育館 対象：18歳～100歳まで いずれか参加しやすい日時を選んで下さい！年に1回自分の体力測ってみませんか？(文科省準拠の種目です)



本町唯一の総合型地域
 スポーツクラブ
 (文科省委託事業)



申込み：クラブハウス(喜界町体育館2階)
 問合せ：クラブマネージャー 梶原貴史
 (携帯080-6421-7422)
 FAX : 65-1441
 Mail : kikai100sportsclub@po2.synapse.ne.jp



喜界小学校

喜界中学校



各学校・幼稚園の卒園・卒業式



あゆみ幼稚園



早町小学校



のぞみ幼稚園



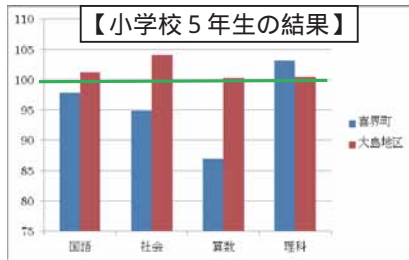
教育委員会の

まど



平成26年度鹿児島学習状況調査結果

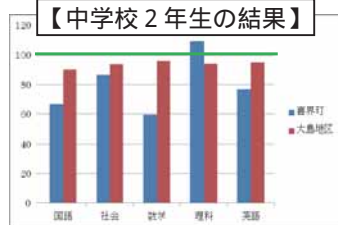
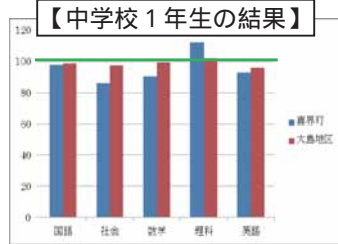
平成27年1月14日、15日に県下の全ての小学校5年生、中学校1、2年生を対象に、鹿児島学習定着度調査が行われました。左のグラフは、県の平均を100としたときの喜界町の学力の状況です。



【小学校の考察】
小学校は、理科が県平均を上回りましたが、国語・社会・算数においては県平均を下回りました。特に算数の落ち込みが大きい結果となりました。なお、全教科において、文章を書いたり用語を記入したりする記述式の問題や知識を活用して考える問題になると通過率が下がる傾向にありました。

【中学校の考察】
中学校1・2年生においても、理科が県平均を上回るなど昨年度の結果と比較して改善傾向が見られました。一方、数学においては、小学校

と同様に落ち込みが大きい結果となりました。また、設問ごとの誤答傾向から、中学校も小学校同様に記述式の問題や活用問題の通過率が下がる傾向にありました。



【中学校の考察】
今後の対策として、特に、算数・数学においては、町教材開発委員会で作成した「算数・数学単元評価問題」(活用問題を取り入れた各学年・単元の評価問題)を活用するなどして改善を図っていく予定です。

「豊かな心を育てる読書大賞」表彰式
3月19日(木)平成26年度「豊かな心を育てる読書大賞(年間多読者賞)」の表彰式が喜界町役場多目的室で行われました。多読者賞を受賞した児童・生徒は、次のとおりです。おめでとうございます。

学校・年	名前	冊数
早町小1	都 瞭菜	538
喜界小2	中村 史里	504
喜界小3	堀之内翔大	325
喜界小4	当原 大陽	259
早町小5	都 千聡	413
喜界小6	瀧井南咲希	308
喜界中1	浪島 未喜	165
喜界中2	叶 眞優希	447
喜界中3	当原 優芽	373

平成27年度生涯学習課関係主要行事予定一覧

- 中央公民館講座合同開講式 (4/26)
- 喜界町総合家庭教育学級 (6/21)



総合家庭教育学級

- 第69回県民体育大会・第56回大島地区大会グラウンドゴルフ競技 (7/19)
- 喜界町リーダー育成サマーキャンプ(小・中・高生対象) (8/4~6)
- 旧菱刈町姉妹盟約50周年記念交流事業(伊佐市訪問) サマーキャンプ参加者(8/19~22)
- 第53回町民体育祭 (10/11)
- 国民文化祭(伝統芸能) (11/7~8)

国民文化祭(埋蔵文化財)

- (11/14~15) 第50回記念島内一周駅伝競走大会
- (11/22) 第18回喜界町生涯学習推進大会
- (11/29) 公民館講座合同開講式・公民館まつり (12/13)



成人式

喜界町成人式 (1/2)

町委嘱PTA活動研究公開喜小 (1/24)

町島唄・島ユミタ大会 (2/14)

今年度も関係団体と連携を図りながら、町民が「うるおいのあるまちづくり」を目指して、「ふるさとと自らに誇りをもつ教育」を推進してまいります。

町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



すこやかニユース

すこやかセンター (65-3522)

平成27年4月から助成制度が変更になりました

不妊治療助成 助成対象：夫婦1組(2人)
 今まで 上限額
 交通費：鹿児島 喜界の往復(飛行機または船)
 宿泊費：1治療期間につき15泊分

↓

4月から 上限額
 : 変更なし
治療費：県の助成額 + 15万円



妊産婦助成 助成対象：妊婦
 今まで 上限額
 交通費：奄美 喜界の往復(飛行機または船)
 宿泊費：出産前21日分

↓

《4月から》 上限額
 交通費：**鹿児島** 喜界の往復(飛行機または船)
 宿泊費：**出産前31日分**



3年連続で3万人を下回り減

つながる・支える・心いのち

予防接種や乳幼児健診は、各市町村によって、実施内容が異なります。予防接種履歴や乳幼児健診等についての情報が必要です。喜界町へ転入の方は、保健福祉課へ母子手帳を持っていらして下さい。転出の方も、こちらから転出先へ必要な情報提供も可能ですので、ご連絡ください。

TEL:65-3522 保健福祉課 健康増進係

転入・転出のご家族の皆様へ

上記のように、助成額が拡充し、不妊治療に関しては、治療費にかかる費用(県の助成額に上乗せ)が、新たに助成対象になります。

なお、変更になった助成対象は、平成27年4月1日分からとなります。

一人で悩まず、相談を

- 鹿児島県いのちの電話 (24時間対応) 099 - 250 - 7000
- 名瀬保健所 0997 - 57 - 7243
- 保健福祉課 健康増進係 65 - 3522

ゲートキーパーとは、自殺しようとしている人のサインに気付いて、適切な対応が出る人のことです。

私たちひとりひとりが「気付き」「声を掛け合い」「話を傾聴し」「見守り、つないで」いきましよう。



少もみられますが、依然多く、喜界町でも年間2〜4名の方が命を落としています。

自身にとっても、周りにとっても痛ましい「自殺(自死)」「そのかけがえのない命を救う「ゲートキーパー」

かけがえのない 命 を救う

こんなサインを見逃さない

- 表情が暗く、元気がない
- 周囲との交流を避けるようになった
- 体調不良や、不眠を訴えるようになった
- 仕事や家事の能率が低下したり、ミスが多い
- 酒量が増える

こんな点に気を付けましょう

- 相手の話を親身になって聞きましょう
- 安易な激励はしないようにしましょう
- ダメ!!「頑張ろうよ」「もっと元気を出さなきゃ」
- 相手の話を否定・批判したりしないようにしましょう
- ダメ!!「つらいのはみんな一緒」「家族のことを考えないと」
- 悩みに寄り添って、ねぎらいの言葉をかけるようにしましょう
- 「大変だったね」「話してくれてありがとう」

- 1. 教育・子育て・青少年の相談
 - 大島児童相談所 …… 0997 - 53 - 6070
 - かごしま子ども・若者総合相談センター (ひきこもり地域支援センター) …… 099 - 257 - 8230
 - かごしま教育ホットライン …… 099 - 294 - 2200
 - 2. 障害児・者に対する相談
 - 喜界町社会福祉協議会相談支援事業所 …… 0997 - 65 - 0887
 - 3. 女性・夫婦等(DVなど)の相談
 - 配偶者暴力相談支援センター …… 0997 - 57 - 7243
 - 4. 労働問題にかかる相談
 - 名瀬公共職業安定所 …… 0997 - 52 - 4611
 - 5. 消費生活相談
 - 大島消費生活相談所 …… 0997 - 52 - 0999
 - 6. 法律相談
 - 法テラス奄美法律事務所 …… 050 - 3383 - 0028
- <喜界町役場でも相談できます> 1~3の相談… 保健福祉課 65 - 3685、4~5の相談… 住民課 65 - 3687

有料広告

社会福祉法人秀心会 職員募集のお知らせ

職 種：保育士

勤務地：ひまわり第一、第二保育園

お問い合わせ期間：随時受け付け中

新卒、経験者、明るく元気な、保育士さん募集中です。

(正規職員、非常勤職員、パート)

問い合わせ先：0997 - 65 - 0264

(ひまわり第一保育園)

有料広告



小さな島の小さな依りどころ...

介護のこと、なんでもご相談ください！

のぞみ
合同会社 希望
居宅介護支援事業所

ケアセンターかりまた

〒891-6142 鹿児島県大島郡喜界町小野津963

TEL/FAX：0997-66-1270

携 帯：080-6641-8485

ケアマネージャー 平野幸子

有料広告

整骨院開院のお知らせ！

医療保険療養費支給申請ができます

(保険請求できる旨)

(脱臼又は骨折のみ幹部の施術にかかる申請には
医師の同意が必要です。他は同意の必要なし)

名 称：喜界島色彩整骨院

住 所：喜界町伊砂 355 番地 (旧喜界島色彩治療院)

開院日：H27年2月2日(月曜日)

施術時間 月～金(8:30～12:30、14:00～18:00)
土(8:30～12:30)

休 日：日、祭日

院 長：平 豊七郎(国家資格 柔道整復師)

完全予約制 TEL:65-4296

内職できる方募集！

業務内容：シールに細かい布を貼る作業
家で暇なときにできます
経験者歓迎！

喜界島色彩整骨院

住所：喜界町伊砂 355 番地
(旧喜界島色彩治療院) TEL:65-4296
院長：平 豊七郎

保健福祉課からのお知らせ 3

「介護保険改正のお知らせ」

平成 27 ~ 29 年度の介護保険料が変わります

介護保険制度においては、事業の円滑な運営を図るため3年ごとに介護保険事業計画を策定し、サービス費用の見込量等に基づき、介護保険料を算定しています。今回の見直しにより、65歳以上

の方（第1号被保険者）の保険料は下表のとおり改正されました。また、保険料の負担段階につきましても、本人及び世帯の合計所得金額、住民税の課税状況等により所得に応じた保険料の設定をしています。

段 階	対 象 者	保 険 料 年 額		
		改 正 前	改 正 後	
		平成 24 ~ 26 年度	平成 27・28 年度	平成 29 年度
新第 1 段階	・生活保護被保護者 ・住民税非課税世帯 (老齢福祉年金受給者または年金収入等 80 万円以下の方)	(旧第 1,2 段階) 25,800 円	27,500 円	18,300 円
新第 2 段階	住民税非課税世帯 (本人の年金収入等 80 万円超 120 万円以下の方)	(旧第 3 段階) 38,700 円	45,900 円	30,600 円
新第 3 段階	住民税非課税世帯 (本人の年金収入 120 万円超の方)		45,900 円	42,800 円
新第 4 段階	住民税課税世帯 (本人が住民税非課税かつ年金収入等 80 万円以下の方)	(旧第 4 段階) 51,600 円 (基準額)	55,000 円	55,000 円
新第 5 段階	住民税課税世帯 (本人が住民税非課税かつ年金収入等 80 万円超の方)		61,200 円 (基準額)	61,200 円 (基準額)
新第 6 段階	住民税本人課税 (本人の合計所得額が 120 万円未満)	(旧第 5 段階) 64,500 円	73,400 円	73,400 円
新第 7 段階	住民税本人課税 (本人の合計所得額が 120 万円以上 190 万円未満)		79,500 円	79,500 円
新第 8 段階	住民税本人課税 (本人の合計所得額が 190 万円以上 290 万円未満)	(旧第 6 段階) 77,400 円	91,800 円	91,800 円
新第 9 段階	住民税本人課税 (本人の合計所得額が 290 万円以上)		104,000 円	104,000 円

消費税率 10%への引上げが予定されている平成 29 年 4 月からは、住民税非課税世帯の新第 1 段階から新第 3 段階の被保険者の平成 29 年度保険料は変更となる予定です。

~ 平成 27 年 8 月からの改正ポイント ~

一定以上の所得がある人は利用者負担が変わります

一定以上の所得がある人は、サービスを利用したときの利用者負担が 2 割に変わります。

また、要支援、要介護の認定を受けた人全員に、介護保険負担割合証が発行され利用者負担の割合（1 割または 2 割）が記載されます。

低所得の施設利用者の食費・居住費の補助の適用条件が変わります。

低所得の施設利用者のうち、配偶者が住民税課税者または、預貯金等が単身で 1,000 万円以上、夫婦で 2,000 万円以上の方は食費・居住費の補助はありません。

また平成 28 年 8 月からは、非課税年金の額についても段階区分の額に含めて判定します。

高額介護サービス費の上限額が一部変わります

高額介護サービス費の利用者負担段階区分に「現役並み所得者」が新設されます。「現役並み所得者」とは、同一世帯に課税所得 145 万円以上の人が出て、年収が単身 383 万円以上、夫婦で 520 万円以上の人です。

高額医療・高額介護合算制度の限度額が変わります

年間の介護保険サービス費と医療費の自己負担額が一定の限度額を超えたときに、超えた分が支給される「高額医療・高額介護合算制度」の 70 歳未満の方の限度額が、平成 27 年 8 月からの計算期間分から変更されます。

町からのお知らせ

保健福祉課からのお知らせ 1

「喜界町国民健康保険の資格喪失手続きについて」

喜界町から転出したり、職場の健康保険などに入ったときには喜界町国民健康保険の資格喪失届けが必要です。

転出の場合

住民課へ転出届けを提出するときに手続きをしてください。必要なもの 印鑑、国民健康保険証

職場の健康保険などに加入の場合（14日以内）

必要なもの 印鑑、新しい保険証（加入者全員分）、国民健康保険証

不明な点がございましたら

喜界町役場 保健福祉課 保険係まで

TEL 65 - 3685

保健福祉課からのお知らせ 2

「各種手当・助成金について」

特別障害者手当及び障害児福祉手当の支給金額の変更
平成27年度から、特別障害者手当及び障害児福祉手当の支給金額が変わります。

特別障害者手当：月額 26,260 円
（26年度は 26,000 円）

障害児福祉手当：月額 14,480 円
（26年度は 14,140 円）

児童扶養手当

児童扶養手当とは、死別や離婚などでひとり親となった世帯を対象とした手当です。所得や扶養人数により、金額が決めます（所得制限あり）。ただし、婚姻していても事実婚状態である場合は対象外です。

月額：9,910 円～ 42,000 円

ひとり親医療費助成制度

ひとり親医療費助成制度は、死別や離婚などでひとり親家庭となった家庭の医療費を助成する制度です（所得制限あり）。原則、児童扶養手当・ひとり親医療費助成ともに児童が18歳になって迎える最初の3月31日まで（高校卒業に相当する年齢まで）。

特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、20歳未満で心身に障がいのある児童を扶養するために、保護者もしくは養育者に支給される手当です（障がいの程度により金額を決定、所得制限あり）。

月額：1級 51,100 円 2級 34,030 円

児童手当

児童手当は、子どもの健やかな成長を目的として支給される手当です。出生、転入・転出などがあったときは、役場保健福祉課へ届出をしていただくようお願いいたします。原則、手続きされた翌月から支給となります。 **出生、転入などの手続きだけ**

では支給されませんので、必ず児童手当の申請も行ってください（公務員は職場へ）。

寡婦家庭医療費助成金

寡婦家庭医療費助成金とは、死別や離婚などでひとり親となり、児童（18歳未満）を養育していた方の医療費を助成するものです。対象は、住民税が非課税 扶養されていない 70歳未満 他の医療費助成の対象者でない、4つ全てを満たす方です。

外来：月に10,000円を超えた額

入院：月に25,000円を超えた額

（入院と外来両方ある場合も同様です）

こども医療費助成金

平成26年度までは「乳幼児等医療費助成金」として、12歳で迎える最初の3月31日まで（小学校卒業まで）の児童の医療費を助成していましたが、平成27年度から「こども医療費助成金」として、対象者を18歳で迎える最初の3月31日（**高校卒業まで**）に拡大し、医療費を助成いたします。（高校へ進学していなくても対象といたします）

支払金額

住民税課税世帯のこどもは月3,000円を超えた額
非課税世帯のこどもは全額助成の対象です
（ただし、高額療養費などある場合はどちらも差し引きます）

助成を受けるには

こども医療費助成金を受けるためには、登録申請をする必要があります。申請には以下のものを持参し保健福祉課へおこしください。

印鑑（認印）

対象のこどもの保険証

振込希望の通帳（保護者名義のもの）

ただし、生活保護世帯、重度心身障害者医療費助成制度・ひとり親家庭医療費助成制度の対象者、婚姻している場合は対象外です。

図書館からのお知らせ

「喜高美術部の美術展を開催します！」

喜界高等学校 美術展

4月28日(火)～5月29日(金)

場所：図書館1階

第65回鹿児島県高等学校美術展で大賞を受賞した竹内夢希さんの洋画「人生×僕＝」をはじめ喜界高校美術部員の作品を多数展示いたします。

図書館にお越しいただき、未来の画伯の絵画をぜひ、ご鑑賞ください。



* 1歳になりました *



英 芽依ちゃん
【湾】(父 将太郎・母 杏奈)

2人のお姉ちゃんに囲まれ、たくましく成長中の芽依。食べるの大好き、歩くの大好き、お外大好き！今月から行き始めた保育園でがんばっているみたいだね！これからも3姉妹仲良きのびのび育てね。(父母より)

* おおきくなあれ *



福村 光希くん(11歳・右)・理希くん(9歳・左)
【上嘉鉄】(母 真理)

兄弟ゲンカもするけれど、弟想いの優しい光希。「にいいい」と甘えるお兄ちゃんが大好きな理希。これからも兄弟仲良く勉強もソフトボールもがんばってね!!
あなた2人のおかげで母もがんばれます。2人の成長が楽しみです。いつもたくさんの笑顔をありがとう。(母より)



- 今月の題字 -

子どもたちの自由な発想で、「こんな」「き」「か」「い」ができました。じょうずに書けたでしょ？

子どもたちの自由な発想で、「こんな」「き」「か」「い」ができました。じょうずに書けたでしょ？

『い』吉内 思惟くん
『か』浜田 叶夢くん
『き』山元 亜耶さん

今月の広報『きかい』の題字は、早町小学校新6年生の3人。今回は、子どもたちに喜界島をイメージして書いてもらいました。

山元さんの『き』は、海とみかんサクナー、そら豆、喜界島の形をイメージ。浜田くんの『か』は、サトウキビとオオゴマダラ。吉内さんの『い』は白ゴマとサトウキビだそうです。

今月の花 ~ アルクトテカ カレンデュラ・シロバナタンポポ ~

城久の畑周辺に咲くアルクトテカカレンデュラ。一般的にはアルクトセカと呼ばれ、和名はワタゲハナグルマ。この花は、キク科ワタゲハナグルマ属で二年草または多年生草本。原産地は南アフリカ。葉のほとんどは茎の下部から出て、地面を覆うように広がる。花茎は10〜15センチほど。花言葉は「神の信託」



早町小学校校庭に咲くシロバナタンポポ。この花は、キク科タンポポ属で日本の固有種。本州の関東地方から九州にかけて分布する。情報提供者によると本町ではセイヨウタンポポはよく見られるが、シロバナタンポポは限られた場所で見られるという。花言葉は、「私を探して」「そして見つけて」



アルクトテカカレンデュラ

喜界歌壇

♪ 萌葉会 ♪

これの世に耐え来しことは福となし 今穏やかに生きて楽しむ 美代 イシ
 東日本大震災からはや四年 亡き友偲び黙禱捧げ 平島 初子
 断捨離と言いつつながめ手の止まる 我歩みし道思いでの品 井澤 紀美子
 首都圏にふわふわ舞ふや粉雪の 窓に釘付け我が胸踊る 前田 喜代美
 月ごとの女子会ム十食べ歩き 飲んでしゃべってストレス解消 高田 エツミ
 生きてこそ眼に灼きつきし孫の顔 亡夫の想いを我が身に託し 弘岡 稲子
 島の糧精魂込めて作るきび 台風に打たれて成果実らず 豊島 瞳
 ^、「合同歌集『回顧・友』(発行者 佐東喜三郎)より」
 戦友等の骨 山野に遺し沖繩を去る 後ろ髪引かれ目をつむるのみ 佐東喜三郎
 さらに沖繩よと 唄いし日々も夢の如く この地に立つ日ありやなしやと



まだわあさんど

(大正15年生・88歳・小野津)

博 喬さん

自慢のタンカン畑で手入れをする喬さん。喬さんはタンカン以外にも、近所にある畑ではうれん草や大根、キャベツなどを栽培され毎日元気に過ごしています。また、今の楽しみは趣味の盆栽。盆栽歴は50年の大ベテランで、庭には綺麗に手入れされたテンバイや松があり、なかには、1.5メートル程のマッコウ(ハリツルマサキ)を鳥の形などにきれいにかたどったものまでありました。長寿の秘訣は「畑に出かけ野菜づくりをすること」だそうです。これからも元気に長生きしてください。

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

- | | |
|---------------|----------|
| 氏名 | (保護者・住所) |
| 茂利 知佳 (優喜・赤連) | |
| 富 琉音 (風音・上嘉鉄) | |
| 向井 陽春 (健治・湾) | |
| 千田 維玖 (和典・湾) | |
- 氏名 (住所)
- いつまでもお幸せに
- | | |
|----------------|--|
| 竹之下 博行 (中間) | |
| 千坂 喜恵子 (中間) | |
| 長田 暁海 (湾) | |
| 田上 智穂 (福岡県直方市) | |

- 開 孝行 (坂嶺)
- 鈴木 己生 (神奈川県横須賀市)
- 愛 智広 (奄美市)
- 幸得 亜紀子 (中里)

ごめい福をお祈りします

- 氏名 (年齢・住所)
- | | |
|------------------|--|
| 田畑 正一 (86才・赤連) | |
| 照岡 哲二 (101才・荒木) | |
| 叶 一千夫 (81才・浦原) | |
| 石原 フミ子 (80才・浦原) | |
| 郡 文彦 (81才・川嶺) | |
| 梅田 すゑ (107才・佐手久) | |
| 萩原 昭八 (81才・塩道) | |
| 我原 純一 (44才・志戸桶) | |
| 稲留 廣照 (62才・湾) | |
- 社協だより (敬称略)
- 寄付金 (香典返し)
- | | |
|--------|------------|
| 氏名 | 住所 |
| 恵畑 栄一 | 中里 |
| 榎 久美子 | 志戸桶 |
| 吉川 文清 | 湾 |
| 福島 啓三 | 伊砂 (神奈川県在) |
| 萩原 雪子 | 塩道 |
| 松元 エツ子 | 川嶺 |
| 梅田 三七隆 | 佐手久 |
| 我原 マツ | 志戸桶 |
| 叶 ハツ子 | 浦原 |

喜界町の推計人口 (平成27年3月1日現在)

世帯数	3,453戸	(9)
人口	7,414人	(11)
男	3,604人	(4)
女	3,810人	(7)

()は前月比

納付をお忘れなく!(4月)

- 【税】軽自動車税 4/30まで
 - 【使用料】3月分簡易水道・下水道使用料・公営住宅使用料・保育料 4/30まで
- 役場 1階会計又はお近くの金融機関で納めてください。納入はお早めに!!



ミニスナップ集



【提供写真】



イランと喜界と奄美を結ぶ・アミールさん家族ら



保育園児の散歩風景

くらしのカレンダー

(平成 27 年 4 月 21 日 ~ 5 月 20 日迄)

研修・・・ 役場研修室
 中公旧・・・ 中央公民館旧館ホール
 すこ・・・ 旧すこやかセンター
 コミ・・・ 役場コミュニティホール
 子育て・・・ 子育て支援センター
 トレ・・・ 役場トレーニング室

日	月	火	水	木	金	土
		4/21	4/22	4/23	4/24	4/25
 島キャン		全国学力・ 学習状況調査 (小6、中3) 【各小・中学校】	 島キャン	登記相談 【研修 9:00 ~ 13:00】	 島キャン	
4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2
平成 27 年度 社会教育学級・ 公民館講座合同 開講式【中公旧 14:00 ~】	精神巡回相 談 (4/28 ま で)【診療所 8:30 ~】	3歳児健診【す こ 13:15 ~】 喜界高校美術 部展示会(4/28 ~ 5/29)【図書 館1階】	 花良治移住体験ツアー		夢育て強調 月間 (~ 31日) 【各小・中学校】	第 13 回 図 書館フェスタ 【図書館】
5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9
【提供写真】  イランと喜界と奄美を結ぶ				資料休館日 【図書館】	肺がん検診 (~ 13日まで) 【各集落公民館 等 9:00 ~】	喜界・早町 小学校・喜界 中学校土曜授 業実施日【喜 界小・早町小・ 喜界中】
5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16
				団体貸出(幼 稚園・各保育園・ 子育て・早町 学童)【図書館】	体操教室【コ ミ 19:00 ~】	体操教室【コ ミ 9:30 ~】 喜界中修学旅 行(~ 20日) 【福岡・長崎・ 熊本】
5/17	5/18	5/19	5/20			
 OBOG座談会	母子相談【子 育 10:00 ~ 12:00】	2歳・2歳半 児歯科健診【す こ 13:15 ~】 喜界小修学旅 行(~ 22日)【鹿 児島(薩摩半島)】	年金相談会(~ 21日)【トレ】 早町小団体貸 出(1~3年) 第1期【早町小 13:00~13:30】		 OBOG座談会	



毎週月曜日は図書館休館日です。
 毎週土曜日14:00~はお話し会(図書館2階)です。

行事は変更になる場合があります。ご了承ください。